

1 市立幼稚園の現状と課題について

射水市では、市立幼稚園を 3 園設置して市民の幼児教育に対するニーズに対応しております。新湊地区の本江幼稚園と七美幼稚園は、昭和 38 年に開設、昭和 54 年に両園舎を改築しておりますが、築 36 年を経過し老朽化が進んでいます。

一方、大門わかば幼稚園は、平成 17 年に旧の大門幼稚園、浅井幼稚園、櫛田幼稚園の 3 園を統廃合し移転新築しており、園舎は経過年数 10 年で、本江幼稚園、七美幼稚園と比べると比較的新しい施設となっています。

近年の少子化の進行に伴い、在園児数の減少も顕著に表れており、子どもたちにとって望ましい環境づくりを検討しなければならない状況となっています。

(1) 建物の状況

(構造凡例 RC : 鉄筋コンクリート造)

施設名	建築年度	経過年数	総延床面積	構造
本江幼稚園	S54年	36年	457㎡	RC
七美幼稚園	S54年	36年	455㎡	RC
大門わかば幼稚園	H17年	10年	1,550㎡	RC

(2) 市立幼稚園の園児数の現状 (各年度 5 月 1 日現在)

ア 本江幼稚園 (認可定員 105 人) の園児数と定員充足率の推移 (人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
3歳児	5	11	8	6	11	6	5	4	1
4歳児	12	6	10	8	6	12	7	5	4
5歳児	8	11	6	9	8	5	13	7	5
園児数計	25	28	24	23	25	23	25	16	10
充足率	23.8%	26.7%	22.9%	21.9%	23.8%	21.9%	23.8%	15.2%	9.5%

イ 七美幼稚園 (認可定員 105 人) の園児数と定員充足率の推移 (人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
3歳児	8	11	11	11	12	10	10	9	9
4歳児	9	7	6	13	13	11	9	10	9
5歳児	8	12	6	7	12	13	11	12	9
園児数計	25	30	23	31	37	34	30	31	27
充足率	23.8%	28.6%	21.9%	29.5%	35.2%	32.4%	28.6%	29.5%	25.7%

ウ 大門わかば幼稚園（認可定員195人）の園児数と定員充足率の推移（人）

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
3歳児	71	41	69	49	47	44	38	27	22
4歳児	58	69	47	70	53	47	48	37	29
5歳児	67	58	69	49	69	52	47	52	38
園児数計	196	168	185	168	169	143	133	116	89
充足率	100.5%	86.2%	94.9%	86.2%	86.7%	73.3%	68.2%	59.5%	45.6%

(3) 市内未就学児（3～5歳）の推移と市立幼稚園児等の推移（4月1日現在）

年度	3歳～5歳児数	市立幼稚園在園児数	市立幼稚園入園率	市内保育園在園児数(広域入所除く)
H20	2,734人	246人	9.0%	1,958人
H21	2,678人	226人	8.4%	1,950人
H22	2,636人	231人	8.8%	1,946人
H23	2,644人	222人	8.4%	1,990人
H24	2,596人	231人	8.9%	1,985人
H25	2,592人	200人	7.7%	2,005人
H26	2,459人	188人	7.6%	1,905人
H27	2,400人	163人	6.8%	1,850人
H28	2,295人	126人	5.5%	1,767人

2 幼稚園部会の設置（再開）について

（1）これまでの経緯

幼稚園部会は、本江幼稚園と七美幼稚園のあり方について検討するため、平成21年8月6日に新湊地区の学校等のあり方検討委員会内に部会を設置し、平成22年11月9日に適正規模と適正配置に関する中間報告書が取りまとめられました。その主な内容は、次のとおりです。

（新湊地区学校等のあり方検討委員会 中間報告書から抜粋）

本江幼稚園と七美幼稚園の現状を見ると、課題を速やかに解決しなければなりません。幼稚園・保育所の「こども園」への統合等、幼稚園をめぐる状況は急激に変化すると予想されます。

このことから、子どもたちにとって望ましい環境づくりを検討するためには、国の動向を注視し、国の方針や政策を見据える必要があります。

今後、国の方針・政策が定まった後、両幼稚園の今後のあり方について改めて検討することが望ましいと報告いたします。

その後、第2次射水市行財政改革集中改革プランに基づき、幼保一体化の方向性を踏まえた公立幼稚園のあり方について再検討するため、平成26年1月28日に設置（再開）し、第1回幼稚園部会（平成26年1月28日）と第2回幼稚園部会（平成26年2月26日）を開催しました。

その中で、国の制度改正が平成27年4月1日（子ども・子育て支援新制度の施行）に行われることに伴って、「現段階では制度全体が明らかになっていない等」部会の意見を踏まえ、今後、国の子ども・子育て支援新制度が施行されるまでの間は、部会の開催を一旦休止することといたしました。

（2）幼稚園部会の設置（再開）理由について

国の子ども・子育て支援新制度が平成27年4月からスタートし、保育園、幼稚園、認定こども園等の制度概要が固まり、新制度が1年経過したことなどから幼稚園部会を設置（再開）しようとするものです。

さらに、この間において本江幼稚園では、園児数が激減し、このままの状況で幼児教育を続けることは、子どもたちにとって望ましい教育環境ではないことから保護者や地元の方々と協議を重ねてきました。

そして、本年7月6日に開催した保護者会との意見交換会のなかで、在園児は七美幼稚園に転園し来年度の入園募集を停止する方針で大筋の合意に達しましたので、今回の幼稚園部会を開催するものです。

3 市立幼稚園の今後のあり方について

(1) 本江幼稚園について

本年度の入園児童数は10人と極端に少ないことから、保護者の皆さんが本来の幼児教育や幼稚園運営を不安視されるとともに、要望書として意見を取りまとめられ市（子育て支援課）に対して提出されました。（平成28年6月10日）

これを受けて、市（子育て支援課、教育委員会学校教育課、本江幼稚園）と保護者会とで意見交換会を実施しました。（平成28年7月6日）

この中で、保護者会からは「来年度の新入園児（見込み）は1人で、全園児は6人となることが予想されることから、本江幼稚園の来年度の募集を停止し、ある程度の人数がいる七美幼稚園に転園できるように配慮してほしい。」との意向がありました。

市といたしましても現在の10人では、集団教育の観点において限界であるものと捉えており、来年度の入園募集を停止することはやむを得ないと考えています。

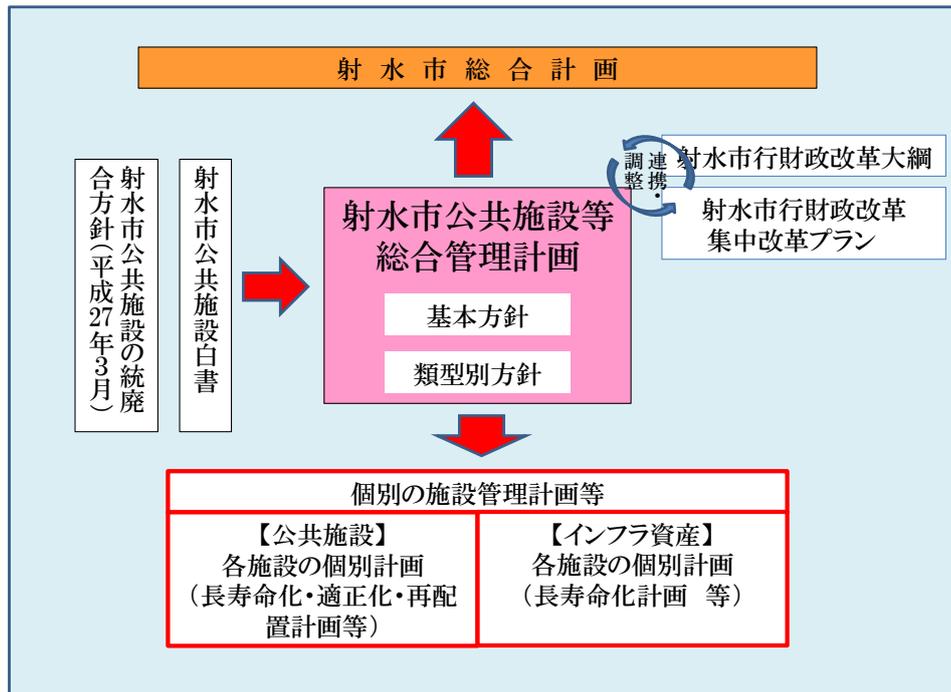
今後は、休園又は廃園について、11月頃までには結論を出したいと考えています。

(2) 七美幼稚園及び大門わかば幼稚園について

七美幼稚園及び大門わかば幼稚園については、本年9月に公表（予定）される「市公共施設等総合管理計画」を踏まえて本格的な協議を再開し、今後の市立幼稚園のあり方について、その方向性をとりまとめ個別の施設管理計画等に反映させたいと考えています。

注) 公共施設等総合管理計画とは、本年6月に策定された「射水市公共施設白書」において、公共施設を取り巻く現状を整理する上で明らかとなった課題や将来にわたって健全な行財政運営を継続していくために、公共施設等の適正な維持管理を長期的な視点で計画的に行うための公共施設等総合管理計画のことです。（本年9月に策定予定）

【計画の位置付け】



※公共施設等総合管理計画（案）のパブリック・コメントを実施しています。

意見募集（公表）期間 平成28年7月26日（火）～平成28年8月15日（月）

今後は、公共施設等総合管理計画を踏まえ、個別の施設管理計画等（再配置計画、長寿命化計画、適正化計画等）を策定します。